

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：城陽市）

タイトル	介護給付適正化事業の実施
------	--------------

現状と課題

縦覧点検・医療情報との突合については、国保連合会より送付される適正化情報により点検を行っている。そのうち、軽度者の福祉用具貸与について、確認書の提出がないままレンタルをしているケースについて、給付費の返還を求めるケースが年に数件程度見られる。

第9期における具体的な取組

国保連合会から送付される情報を元に、毎月点検を行う。その中で疑義があるケースについて事業所等に問い合わせを行い、適正な給付の実現に取り組む。

目標（事業内容、指標等）

適正化の点検を毎月行い、その中で疑義があるケースについて事業所等に問い合わせを行い、適正な給付の実現を目指す。

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - 点検回数をカウントする。また、返還金額の縮小を目指す。

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：城陽市）

年度	令和7年度
----	-------

実施内容

適正化の点検の中で、軽度者の福祉用具貸与について、確認書の提出のないままレンタルを行っていたケースが令和3年度に2件、令和4年度に1件、令和5年度に1件あり、給付費の返還を求めた。また、全事業所に対して、再度申請についての周知を行った。令和7年度も国保連合会から送付される情報を元に、毎月点検を実施したところ該当するケースはなかった。

自己評価結果

確認書の提出もれがないように事業所周知に努めており、令和7年度は返還を求めるケースは発生していない。

課題と対応策

今後も、給付費の返還を求めることがないように、運営指導や通知文書などで事業所周知などに努めていく。